

仙南地域における、宮城県各公所の取り組みを紹介します。

SENNAN THE KING ザ キング

令和4年度第3号(通算第50号)

令和5年3月17日発行

大河原管内 合同広報誌
発行：宮城県大河原地方振興事務所

仙南地域のシンボルである蔵王は、地域にとって、言わば『王様』です。大河原地方振興事務所では、蔵王を仙南地域共有の大切な財産とし、地域の皆さまとともに、地域振興を進めています。

The・KING ~ 今号の注目記事 ~

丸森町で 「第3回沢尻棚田写真コンテスト」 が開催されました

「つなぐ棚田遺産」に選ばれている丸森町の「大張沢尻棚田」の四季にスポットを当てた写真コンテストが開催され、その作品展が、丸森町の物産市場八雄館、宮城県庁1階ロビーや阿武隈急行車内などで開催されました。今回の応募点数は85点で、第一席となる「特選」のほか、今回新設した地元放課後児童クラブの小学生審査員が選んだ「地元キッズ賞」など、計10作品が入賞しました。

作品展の初日となる令和5年1月17日には表彰式が行われ、棚田を管理する「大張沢尻棚田集落協定」代表から受賞者に対して賞状と副賞として美味しい「棚田米」が贈呈されました。

「沢尻の棚田」は、四季それぞれに魅力ある美しい風景に出会うことができますので、お近くにお越しの際は是非、お立ち寄りください。

【背景写真】特選作品「棚田を守る男」（塩入洋一様）



丸森町長の挨拶



作品展



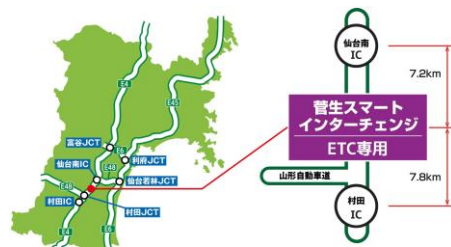
地元児童クラブの審査の様子



菅生スマートインターチェンジ空撮図

環境
くらし・
**東北自動車道「菅生スマートインターチェンジ」
が令和5年3月25日に開通します**

県、村田町、NEXCO東日本が共同で整備を進めていた東北自動車道菅生パーキングに連結するスマートインターチェンジが、令和5年3月25日（土）の午後3時に供用を開始します。



菅生スマートインターチェンジ位置図

国際レースが開催される「スポーツランドSUGO」を活用した地域振興や来訪者による村田町中心部の渋滞緩和と安全性向上、村田町内や秋保地区などの観光施設へのアクセス向上、村田町北部地域から救急医療施設への搬送時間短縮、山形方面から仙台空港への利便性向上などが期待されます。

菅生スマートインターチェンジは、休憩施設接続型のETC専用インターチェンジで、一旦停止型のフルインター形式です。ETC車載器を搭載した車長12mまでの車種が利用可能となります。

【大河原土木事務所】



令和5年2月現在

管内図（仙南・仙塩広域水道用水供給事業）



完成した姥ヶ懐調整池（村田町内）

仙南・仙塩広域水道用水供給事業は、東日本大震災等の教訓を踏まえ、高区系（仙塩方面）から低区系（仙南方面）をバックアップする「高区・低区送水連絡管整備事業」に2013年から着手し、このたび完成したことから、本年1月31日に運用を開始しました。これにより、低区系（仙南方面）の市町には、低区系又は連絡管の2系統から送水が出来るため、漏水事故等による断水時間を短くすることが可能になりました。

今後とも「強靱な水道の確保」に向けて、関係機関と連携して取り組んでまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【仙南・仙塩広域水道事務所】

仙南・仙塩広域水道用水供給事業

七ヶ宿ダムを水源として、仙南および仙塩地域の17市町に対して、一日最大55万3300立方メートルの水道用水を供給する事業です。

1977年度から建設工事に着手し、89年度までに一日最大15万立方メートルの取水に対応する第一期工事が完了し、90年度からは一部市町（15市町）に、92年度からは17市町全てに供給しています。

94年4月からはダム取水系の計画取水量である一日最大27万9000立方メートルの供給が可能になっています。

防災・安全
**高区・低区送水連絡管の運用を開始しました
（強靱な水道の確保）**

観光・文化

温泉PR動画を発信しています
〜みやぎ仙南湯めぐりにゃんこけしの旅〜

蔵王連峰の麓に広がる仙南地域は温泉の宝庫で、昔から多くの人に親しまれてきた様々な泉質の温泉があります。地方振興部ではこれまで、管内の代表的な温泉地を「みやぎ蔵王温泉郷」として、リーフレットやHPにて発信してきました。

今年度は、それらの温泉の魅力をさらに知ってもらうため、温泉PR動画「みやぎ仙南 湯めぐりにゃんこけしの旅」を作成し、SNS等で発信しています。

動画内では、「にゃんこけし」が温泉を巡り、湯船に浸かりながら温泉の様子や泉質などの少しマニアックな情報を紹介します。3月末までに、9本の動画を発信する予定です。

日帰り入浴可能な温泉では、動画を見て日帰り入浴した方に、仙台弁けしの手ぬぐいの先着プレゼントを予定しています。※なくなり次第終了
ぜひ仙南地域の温泉に来て、見て、知って、楽しんでください。

【大河原地方振興事務所 地方振興部】

当所SNSで随時公開されます。



当所ツイッター



当所Instagram



にゃんこけしによる温泉の紹介



みやぎ仙南湯めぐりにゃんこけしの旅

まちづくり・地域振興

令和4年度仙南青年文化祭 in まるもり

〜学生気分をもう一度〜

これまで仙南の青年たちが一堂に会し、ステージ発表などを行ってきた「仙南青年文化祭」。今年度は、昨年3月に廃校となった旧丸森町立金山小学校の校舎をお借りして開催しました。当日は、金山小学校の伝統行事「竹馬運動会」を校庭で再現。各教室では、パラスポーツのポッチャや科学実験等を体験したり、丸森町内の小学生や伊具高生の作品展示を鑑賞したりと、笑顔と笑い声の絶えない学校が復活しました。来場された皆さんには、小学生の頃へタイムスリップし、ほっこりした気分には浸っていただけた1日になったのではないかと思います。

【大河原教育事務所】



旧金山小学校の教室での工作体験



実行委員集合写真



竹馬運動会

丸森町でプロ向けのガーデン植物を生産しています！

はるはなファーム株式会社は、丸森町で、一般消費者用に加えプロのガーデナー向けの花壇苗を生産・販売する農業生産法人です。ナチュラリストテイックな植栽に向けた宿根草をメインに、年間を通してその数は700〜800種あります。

また、今年度は、近年増加する需要に対応するため、県の補助事業を活用して生産施設を増設するとともに、専門家のアドバイスを受けて業務改善にも取り組んでいます。



ペDESTリアンデッキで咲き誇る花



ペDESTリアンデッキで植栽する鈴木代表取締役社長

代表取締役社長の鈴木氏は、仙台駅西口ペDESTリアンデッキの植栽で第1回JAG「ガーデンデザイナー」アワード優秀賞を受賞したほか、第1回「東京パークガーデンアワード」デザインコンテストで入賞し代々木公園に植栽するなど、ガーデンデザイナーとしても活躍しており、今後益々の飛躍が期待されます。

【地方振興事務所 農業振興部】



はるはな
ファーム
HP

暮らしを守る治山工事

丸森町における取組

「令和元年東日本台風」は、県内各地に数多くの爪痕を残し、その中でも丸森町における被害は甚大で、崩壊した山腹や荒廃した溪流は、その後の降雨により再び被害を及ぼす危険性が高いことから、町内33地区で、治山ダムによる土砂流出防止対策や崩壊した山腹を元の安定した森林に戻すための治山事業を実施しています。

主要河川の上流域等、継続して危険箇所の対策工事に取り組みます。

令和4年度末時点では20地区の工事が完成し、令和6年度末までに全地区完成する予定です。地域の皆様の安全・安心な暮らしを守るため、災害に強い森林づくりを進めてまいりますので、引き続き御理解と御協力をお願いします。

【地方振興事務所 林業振興部】



丸森町耕野字入大地区（被災直後）



丸森町耕野字入大地区（工事完成）

七ヶ宿西部地区で

農地整備を進めています

七ヶ宿町湯原において、平成30年度に事業採択された七ヶ宿西部地区の農地整備工事を進めています。

農地整備工事は、農業競争力の強化を図るため区画の整理・拡大、道水路の整備を行い、農地の汎用化・担い手への農地集積を促進するものです。

令和4年度までに、農地整備面積14.6ヘクタールの内4.8ヘクタールの面積が完了し、残りの6.2ヘクタールは令和5年度までに、農地整備工事を実施する計画としております。

整備された場所では、そばの作付けが行われ、近隣のお蕎麦屋さんで振る舞われておりますので、七ヶ宿町までお越しいただき是非堪能していただければと思います。

【地方振興事務所 農業農村整備部】



七ヶ宿町田堀分区（工事着手前の状況）



七ヶ宿町田堀分区（工事完了後の状況）

令和元年東日本台風被害を受けた

農業用ため池の復旧工事が

完了しました

白石市大鷹沢にある逆川上ため池、逆川下ため池、長柴山ため池は、令和元年東日本台風の豪雨により、水位が急上昇したため決壊し、下流の宅地や道路等に被害をもたらしました。

そして、令和2年度から開始した災害復旧事業のため池災害関連特別対策事業により、令和5年1月に工事が完成しました。

再度災害が発生しないように、堤体はため池整備指針に基づき耐震性等を考慮した構造で復旧しており、大雨時の洪水を下流に放流する設備である洪水吐（こうずいばけ）については、設計流量の見直しを行い、従来よりも断面を拡大して復旧しています。

【地方振興事務所 農業農村整備部】



長柴山（復旧前）（農業用ため池）

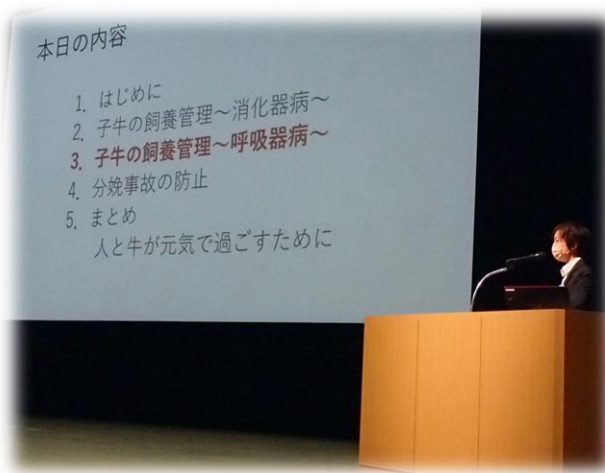


長柴山（復旧後）（農業用ため池）

仙南地域畜産講演会が開催されました。

2月17日、かくだ田園ホールで仙南地域畜産振興協議会主催の講演会が開催されました。本講演会は新型コロナウイルスの影響等により令和元年以降開催を見合わせており、実に4年ぶりの開催となりました。

岩手大学農学部附属動物病院の木南藍子氏より、子牛の呼吸器病や消化器病を予防しながら育成管理をするポイントや、分娩時の事故防止について講演があったほか、宮城県



講演会の様子

本日の内容

1. はじめに
2. 子牛の飼養管理～消化器病～
3. 子牛の飼養管理～呼吸器病～
4. 分娩事故の防止
5. まとめ
人と牛が元気で過ごすために



質疑応答

農政部畜産課の渡邊智氏より、全共鹿児島大会の成果と今後の取り組みについてお話をいただき、約70名の参加者は熱心に耳を傾けていました。農場を健全な状態で長く続けるための病気の予防や、仙南地域で生産された種雄牛「昭光茂」の活用につながる有意義な講演会となりました。

【大河原家畜保健衛生所】

中高年からのフレイル予防に取り組んでいます



「立ち上がりテストツール」を貸し出し中

フレイルは加齢などに伴い、心と体の働きが弱くなる状態（虚弱）をいいます。歩くスピードが遅くなっていますか？ 新型コロナウイルスの影響で外出の回数が減ってはいませんか？ フレイルをそのままにしておくと要介護状態になる危険性が高いといわれています。いつまでも元気に毎日を過ごすためにもフレイル予防に取り組みましょう。仙南地域医療対策委員会では、地域の医師、歯科医師、薬剤師、市町職員が出演する「フレイル予防動画」を作成しました。



フレイル
予防動画

【仙南保健所
地域保健福祉部】

左記QRコードから動画を視聴することができますので、ご覧ください。また、足腰の衰えをチェックできる「立ち上がりテストツール」を仙南地域の皆さまに貸し出ししておりますので、ぜひご利用ください。



フレイルとは「健康」な状態と「介護」が必要な状態のあいだの虚弱状態をいいます

観光・イベントに関するお知らせ



みやぎ仙南の郷土料理である「おくすかけ」のレシピや仙南地域でおくすかけを提供している店舗を紹介いたします。



みやぎ蔵王山麓に所在する白石市小原温泉・鎌先温泉・白石湯沢温泉、蔵王町遠刈田温泉及び川崎町青根温泉・義々温泉の各温泉地が連携し、「みやぎ蔵王温泉郷」として一体的な情報発信や誘客の取組を行っています。



「みやぎ蔵王三十六景」とは、みやぎ蔵王を背景としたすばらしいスポットです。仙南地域の新しい観光資源として、地域振興を進めていくために、仙南2市7町の各地から選定しました。



仙南地域で愛されている「まちのお菓子屋さん」やカフェ60店舗を御紹介しています。猫の神様「せんにゃん」と一緒に、スイーツ巡りをしてみてはいかがでしょうか。



ツイッター

インスタグラム

せんなんスイーツPR
キャラクター
せんにゃん

大河原地方振興事務所公式ツイッター・インスタグラム「いいっちゃね、みやぎ仙南！#んだから〜」では、宮城県南地域のいいとこ情報を積極的に発信しています。

親子で遊ぼう in 蔵王

令和5年1月22日、宮城県内の未就学児とその保護者67名が参加して「親子で遊ぼう in 蔵王」を開催しました。雪の量は少なめでしたが、雪を使った活動を体験し、親子の絆を深めました。



ざおうさまと記念撮影「蔵王自然のイエ〜！」

午前中は、森の中を探検し、動物の足跡を発見しながら雪の中を歩いたり、家族ごとに思い思いの雪だるまを作ったりしました。また、ポリ袋にチヨコレートやグラノーラを入れて融かし、雪の中で冷やして固めるおやつ作りもしました。午後には、ざおうさまが登場し、みんなと一緒に記念撮影をしたり、親子でそり遊びを満喫したりしました。

【蔵王自然の家】



親子で仲良く雪だるま作り



スノーシュートレッキング



そり遊び

満喫！蔵王の冬

1泊2日を蔵王自然の家にて、家族で過ごす事業です。積雪も十分にあり、雪遊びを存分に楽しめました。プログラム内容：そり遊び、雪像・かまくらづくり、ホットサンドづくり、スノーキャンドル、スノートレッキング（スノーシュー、歩くスキー）

参加者の感想から「思いっきり遊べる場所が限られている中、雪の中とても楽しそうに子供たちが遊ぶ姿を見られてとてもうれしかったです。」

「父と息子、2人きりで初めて泊りのお出かけをしました。雪山を歩いたり、そり滑りをしたり、忘れられない思い出になりました。」

「スノートレッキングでは、日常では見られない景色や体験を子供も大人もできました。心が癒されました。」

【蔵王自然の家】



集合写真



大河原管内の教育関係機関と税務関係機関で構成する大河原地区租税教育推進協議会では、次代を担う児童や生徒に税の意義や役割を正しく理解していただくため、管内の小・中学校や高校に講師を派遣する「租税教室」を開催しています。

大河原県税事務所からは、5校の小学校に職員が訪問し、税金のしくみや使い道についての授業を行いました。DVD上映や、一億円分の紙幣レプリカの体験もしていただき、児童の皆さんから、「税金がどのように使われているか知ることができた」「納税の大切さを感じた」などの感想をいただきました。

この「租税教室」は、来年度以降も引き続き開催する予定です。

【大河原県税事務所】

次号は7月中旬の発行予定です

【編集後記】

今号では、丸森町「第3回沢尻棚田写真コンテスト」をご紹介いたしました。沢尻棚田は「つなぐ棚田遺産」にも選ばれています。今後も当所では、棚田の風景を守り、そして、色んな方に知ってもらえるよう支援していきます。



読者の皆様からのご意見、ご要望をお待ちしています。下記までお気軽にお寄せください。

宮城県大河原地方振興事務所 地方振興部
〒989-1243 柴田郡大河原町字南 129-1

TEL : 0224-53-3182 (直通)

FAX : 0224-53-3076

E-mail : oksinbk2@pref.miyagi.lg.jp

HP : <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/oksgsin-e/>